

# 家庭科学学習指導案

令和元年 9月 20日 金曜日

第5校時 1年D組 40名

指導者 山下 由美子

## 1. 題材名「住まいと自立」

## 2. 題材の設定理由

### 〈題材について〉

この題材では、課題をもって健康・快適・安全で豊かな住生活に向けて考え、工夫する活動を通して、家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能、家族の安全を考えた住空間の整え方に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、住生活の課題を解決する力を養い、住生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成することを目的としている。健康・快適・安全で豊かな住生活の実現のためには、家族の思いや願いを互いに尊重し、ライフステージに合わせた住まいと住まい方を考えていく姿勢が必要である。

### 〈学習者について〉

本学級の学習者は、授業で学習したことを自分の生活に結び付けて考えることができる学習者が多い。被服分野の学習では授業の振り返りの中で、今日学習したことを自分の生活で実践してみたいと具体的に書いていた学習者が多く見られた。しかし、住生活の分野では、家族にゆだねている部分が多く、健康・快適・安全な住まい方を工夫し実践する学習者は少ないため、今の自分の住まい方を見直し、これからの住まい方をよりよいものにしていく実践的な態度を身に付けることが課題である。

### 〈指導・「問い」の工夫について〉

本題材を通して住まいのチェックシートを作成し、そのチェックシートを学習者自身の住まい方に活用できるようにすることで、主体的に学習に取り組めるようにするとともに、自己の生活に生かすことができるようにした（問いの工夫）。まず、住まいのチェックシートを作成するにあたっての健康・快適・安全という項目に分類し、それぞれの知識を身に付ける。生徒達も知っている磯野家の間取りや住まい方を使って、磯野家の問題点を他者と話し合いながら改善策を考えるとともに、チェックシートの項目を作成し、改善策を話し合う。ここでは、快適な住まいとは、家族の思いを互いに尊重し合うことも必要であることに気付かせたい。最終的な活動として、磯野家を通して作成したチェックシートを用い、自分の家の問題点を見つけ、改善・振り返りをし、これから先の住まいや住まい方を考えさせる（問いの工夫）。

## 3. 題材の目標

- ・自分や家族の生活行為と住空間との関わり及び、住居の基本的な機能について理解すること。B(6)ーア
- ・家族が安心して住まうためには、住空間を安全な状態に整える必要があることを知ることができ、家庭内の事故を防ぎ、自然災害に備えるための住空間の整え方について理解すること。B(6)ーア (イ)
- ・健康・快適・安全な住まい方についての課題を解決するために、既習事項を活用し安全などの視点から、住空間の整え方について考え、工夫すること。B(6)ーイ

#### 4. 題材の評価規準

関心・意欲・態度	工夫・創造	生活の技能	知識・理解
ア 健康・快適・安全な室内環境の整え方と住まい方について、関心をもって取組、住生活をよりよくしようとしている。	イ 健康・快適・安全な室内環境の整え方と住まい方について課題を見付け、その解決方法を目指して工夫している。		ウ 住居の機能について理解し、健康・安全・快適な室内環境の整え方と住まい方に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

#### 5. 題材指導計画（総時間 6 時間）

##### 題材のめあて

住空間の整え方に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、健康・快適・安全な住まい方を考えてみよう

	めあて・課題	学習活動	「問い」の工夫	振り返り	評価	評価方法
1	めあて 住まいの役割と機能を知り、磯野家の住まいを3つの視点から考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康・快適・安全な住まいとはどんなものか考え、住まいの役割について考える。</li> <li>磯野家の間取りを健康・快適・安全の視点から見て、問題があると思う所に付箋を貼る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康・快適・安全な住まいの条件を考える。</li> <li>磯野家の間取りを3つの視点から見た時の問題点を見つける。</li> </ul>	健康・快適・安全な住まいを考え、磯野家の問題点を見つけることができた。	住まいについて関心を持ち、住居の基本的な役割を理解しようとしている。	ワークシート
2	めあて 家庭内で起こる事故について考え磯野家を安全な住まいにしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭内事故・自然災害について知り、工夫の仕方を考える。</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>I 磯野家を健康・快適・安全な住まいに改善するために、チェックシートを作成する。その際、磯野家を例に考えさせ、自分の生活でも実践できる成果物を作成する。</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭内で起こる事故の種類と原因を理解し、防ぐための工夫をすることができた。</li> </ul>	家庭内事故の種類とその原因を理解することができる。	ワークシート
3	めあて 磯野家を健康で快適な住まいになる工夫を考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の住居の特徴や光・換気・湿度・生活動線・プライバシーの視点から磯野家を見直し、問題点を探す。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>磯野家の間取りから見つけ改善する工夫をすることができた。</li> </ul>	安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について考え工夫することができる。	ワークシート
4 本時	めあて 磯野家のこれからの住まい方について考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>磯野家の願いや思い・ライフステージに応じて、快適に住むための工夫を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>快適に住もうためには、家族の思いや願いを尊重することも大切であることに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>快適な住まい方は、その時の願いや思い・ライフステージに合わせた工夫をすることで得られる。</li> </ul>	磯野家の住まい方を考える活動を通して、家族の願いや思いを尊重した住まい方を理解することができる。	ワークシート
5	めあて これまでの知識を活かしてチェックシートを完成させよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を活かし、チェックシートを作成する。</li> <li>次回の授業までに自分の住まいを点検してくる。</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>II これまでの学習で得た知識を使って作成したチェックシートを使い、自分の住まいをチェックする。チェックされたところを改善する工夫を考え、実際に取組、自分の家を改善する。</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の家を安全・健康・快適な住まいにするためのチェックシートを完成することができた。</li> </ul>	これまでの既習事項を使い、チェックシートの項目を考えることができる。	ワークシート
6	めあて 我が家を健康・快適・安全な住まいにしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェックシートを使って、見つかった住まいの問題点を改善する工夫を班で考える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>チェックシートを使って、見つかった住まいの問題点を改善する工夫を班で考えることができた。</li> </ul>	住まいの問題点をこれまでの知識を使って解決することができる。	ワークシート

## 6. 本時の指導

(1) 題材 「ともに住もう」

(2) ねらい 未来の磯野家が快適な住まい方の工夫を他者と交流する活動を通して、快適さは家族の思いや願いを尊重したり、ライフステージに合わせた住まい方を工夫したりすることで得られることに気付くことができる。

(3) 本時における「問い」の工夫

I：導入で磯野家のこれからの変化を考えさせる発問をし、住まい方が変わることに気付かせることで本時のめあてにつなげる。

II：各班が異なった磯野家の未来の状況カードをもとに、家族の願いや思いを叶えるための工夫を考えることを通して、住む人の願いや思いを互いに尊重し、暮らしに合わせた住まい方を工夫すれば、快適に住まうことができることに気付けるよう試みる。

(4) 展開

学習活動	時間	指 導	期待される学習者の反応	備考・評価
めあて：磯野家がこれから快適に住む方法について考えてみよう。				
1. 磯野家が、これからの住まい方にどんな変化があるか考え発表する。	5	I 前時の活動を振り返り、磯野家のこれからの変化を考えることで、住まい方は変わることに気付かせる発問をする。 「磯野家にこれからどんな変化があるだろうか」	・カツオとワカメがそれぞれ1人部屋がほしいという。 ・フネさんと波平さんが高齢になり、足腰が悪くなる。	・ワークシート
2. 未来の磯野家の状況や願いが書かれたカードを基に、住まい方の工夫を考える。(個人→班)	15	II 3種類の状況カードを準備し、各班が異なった状況の設定の工夫を個人で考えさせる。	・状況カードに応じて住まい方の工夫を考える。	・磯野家の状況が書かれたカード
3. 考えた工夫を班の中で発表し合う。	8	・班で話し合い、他の人の意見を自分の工夫に反映させる。		
4. 考えた工夫を発表する	8	・数人に発表させる。		
5. 状況カードに書かれたことについて考える。	8	発問 「状況カードに共通して書かれていることは何だろうか？」	・家族の思い ・住まいに対する要望 ・住まいに対する願い	磯野家の住まい方を考える活動を通して、家族の願いや思いを尊重した住まい方を理解することができる。
6. 振り返り	6			
<p>振り返りの視点：本時を通して、快適な住まい方について新たな視点を持つことができたか。            期待される振り返り：快適な住まい方は、ライフステージに合わせた願いや思いを叶えることで得られることができると気付いた。            今日の学習を快適さのチェック項目に取り入れたい。            自分も家族と話をし、住まい方を考えてみたいと思った。</p>				

(5) 板書計画

めあて：快適な住まい方について考えよう。

課題：磯野家のみんながこれからも快適に住まうためにはどう工夫すればよいだろうか。

<現在の磯野家の状況>

- ・波平 54 歳 フネ 50 歳
- ・サザエ 24 歳 マスオ 28 歳
- ・タラオ 3 歳
- ・カツオ 11 歳 ワカメ 9 歳

<これから起こりえる変化>

- ・一人部屋がほしい
- ・たらちゃんに兄弟ができる
- ・波平さんの足腰が悪くなる

状況カード



状況カード



状況カード



状況カードに共通して書かれていることは何だろう

- ・家族の思い
- ・住まいに対する要望
- ・住まいに対する願い

振り返り

・快適な住まい方は願いや思い  
快適な住まい方は、ライフステージ  
に合わせた願いや思いを叶える  
ことで得ることができると気付  
いた。

# 単元構想メモ

## 単元「 住まいの自立 」

### ①単元の目標は何か（資質・能力）

自分や家族の生活行為と住空間との関わりが分かり住居の基本的な機能について理解できる。家族が安心して住むためには、住空間を安全な状態に整える必要があることが分かり、家庭内の事故を防ぎ、自然災害に備えるための住空間の整え方について理解できる。

健康・安全・快適な住まい方についての課題を解決するために、既習事項を活用し安全などの視点から、住空間の整え方について考え、工夫することができるようにする。

### ④問題意識を持たせるために、どのような導入を図るか（③を届けるために）

磯野家住まいのチェックシートを作成し、そのチェックシートを学習者自身の住まい方に活用できるようにすることで、主体的に学習に取り組めるようにするとともに、自己の生活につながるようにした。

#### 問いの工夫Ⅰ

磯野家を健康・安全・快適な住まいに改善するために、チェックシート（成果物）を作成する。その際、磯野家を例に考えさせ、自分の生活でも実践できるようにする。

### ③どのようなめあて、課題にするか （各教科の見方・考え方が働くもの）

住空間の整え方に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、健康・安全・快適な住まい方を考えてみよう

### ⑤どんな追及活動を行わせるか（言語活動含む）

・授業で得た知識を活かし、チェックシートの項目を考え、チェックシートを作り、自分の住まいを点検する。

・磯野家の未来の状況カードをもとに、学習者がカードに書かれている家族の願いや思いを叶えようと考え、住む人の願いや思いを互いに尊重し、暮らしに合わせた住まい方を工夫すれば、快適に住まうことができることに気付かせる活動を行わせる。

### ⑥使える資料は何か。どこで使うか。

- ・教科書
- ・磯野家の間取り図

#### 問いの工夫Ⅱ

これまでの学習で得た知識を使って作成したチェックシートを使って自分の住まいをチェックする。

チェックされたところを改善する工夫を考え、実際に取り組み、自分の家を改善する。

### ②単元の最後に理解させたいこと、発言させたいことは何か

#### （単元のゴール+振り返りの視点）

・チェックシートを使い自分の住まい方を見直し、自分の住まいを健康・安全・快適なものに工夫することができる。

#### 【予想される振り返り】

・自分の住まいをチェックシートで点検することで、安全な住まいにすることができた。

・これまで住まいに関して意識することが少なかったが、これから快適に住むために意識して生活していきたいと思った。

### ⑦まとめの表現活動をどうするか

チェックシートを使って自分の家を点検する。